



# あゆみ

No. 161

令和 3年 8月 27日発行

編集 発行：社会福祉法人 啓明会 苓山寮・第二苓山寮  
 〒863-0006 熊本県天草市本町下河内680  
 TEL 0969-22-5339・0969-22-1766 FAX 0969-22-5090  
 E-mail reizanryou@miracle.ocn.ne.jp・reizan2@muse.ocn.ne.jp  
 社会福祉法人啓明会ホームページURL <http://keimeikai.amakusa-web.jp/>  
 施設の旬の話題を「**レイザンTOPIX**」にて更新中です。



## 赤勝て！白勝て！

どっちも優勝だ！！！！



### 「提案する仕事 その二」

施設長 鮎田 一夫

八月四日、苓山寮・第二苓山寮・グループホームの六四歳以下の希望する利用者さんと職員全員に二回目の新型コロナウイルス接種が終わり、これでほぼ全ての利用者さんと職員が二回の接種を済ませました。新しい変異株も出てきているので決して油断はできませんが、ひとまず施設としては今考えられる最善のことができました。

さて今年の重点目標は「TAKE RからGIVERへ（与えられる仕事から提案する仕事へ）」です。前号では医療でのその取り組みについてご紹介しました。今回は苓山寮のサポートスタッフの仕事ぶりをご紹介します。サポートスタッフとは、掃除や利用者のコップの消毒、寝具類の入れ替えなど利用者に直接接する仕事以外の細々とした仕事をするこ

とにより、間接的に支援をサポートしてくれている職員です。苓山寮ではほぼ全員の利用者の洗濯を洗濯専門の職員がしてくれていましたが、今年度からはその仕事もサポートスタッフがやってくれることになりました。した。この仕事はただ洗濯すればいいというものではありません。洗濯物はそれぞれの利用者の籠に仕分けし、破れていたら繕い壊れていたら担当に知らせ、汚物で汚れた物は別に漂白しと様々な仕事があります。特に困るのが誰の服かわからなくなることです。名前は書いていたのですが洗っていくとだんだん薄れていきます。サポートスタッフはまず名前の書きにくい靴下に名前を書いた小さな靴切れを縫い付けることで、行方不明の靴下を大幅に減らしてくれました。また手縫いの袋を作り籠を持つと歩きにくい利用者には肩に掛けてくれます。もっと危険なつかしい利用者の分は直接部屋に行っていくれます。先日は施設全部のカーテンをいつの間にか洗ってくれていました。これらのことは全てスタッフさんの方から申し出てくれたことです。施設全体の支援が円滑にまわるために自分達で何が出来るかと言う視点で仕事を提案してくれています。縁の下の力持ちが施設にいてくれることは実際にありがたいだけでなく、仕事に対する姿勢を他の職員が見て学んでくれるという面でも大切な存在です。

## サービスの現場より

### 『ワクチン接種を終えて』



副施設長 鮎田 公博

去る八月四日、当施設では二回目のコロナウイルスワクチン接種を終えました。第二茶山寮では三七度以上の発熱等の症状が十人の利用者の方に見られましたが、二日後には回復していました。このワクチン接種がコロナ対策として万全とは思いませんが、感染や重症化の可能性が低くなることは、間違いありません。安全や安心感につながっていくものと考えております。

ところで県内ではまん延防止等重点措置が適用され、いろいろと営業の自粛要請等がなされております。感染の拡大を防止するためには、必要な対策ですので、私共の施設にも一定の自粛が求められております。ワクチンを接種したとしても、この自粛生活には対応していかなくてはなりません。今後とも、一般的に言われている制約を遵守しながら、利用者の皆様とともに蔓延しないように努めて参りたいと考えております。ワクチンの効果を最大限維持・継続するためにも従来言われています「三密を避ける」「手指消毒をする」などの日々の実践を継続する必要がありますと考えております。

従いまして御家族や関係者の皆様には帰省や面会、又外出等の自粛などでご迷惑をおかけすることと思いますが、どうぞご理解とご協力をお願い致します。



### 『私の担当利用者さんへの取り組み』



支援員 橋口 美雪

私は現在担当利用者さんへ、排便をスムーズに促す事が出来る様支援を行っております。当施設は今年一年間、排便コントロールを促す取り組みを行っております。日中活動の中で①水分を多めに摂る②腹部マッサージ③歩行に毎日参加する等々を特に力を入れて行っております。他の職員へも協力して貰いながら、継続して支援をしております。水分補給については午前と午後の二回行っておりますが、熱中症予防を兼ねて、一杯目は電解質入りの飲料水、二杯目はお茶を促しております。私の担当している利用者さん二名については腹部マッサージを一日二回行っております。時にはマッサージを嫌がり、拒否をされる利用者さんもおられますが、支援の途中で心地よく眠ってしまった方もおられます。利用者さんの機嫌を見ながら継続していきたいと思っております。その結果便秘薬の使用が減り、座薬の使用等をあまりせずに排便がスムーズに見られる様になった利用者さんもおられます。体の負担を極力減らす意味で、薬の使用を出来るだけ減らし、スムーズな排便ができる様、今後も日々の支援にあたっていききたいと思っております。

### 『私の担当利用者さんへの取り組み』



支援主任 金森 明美

私は三名の利用者さんの担当をさせて頂いております。三名とも元気で明るい笑顔の持ち主です。今回は三名のうちの一人、Mさんについてお話したいと思います。Mさんは第二茶山寮の利用者さんのリーダー的な存在で、皆さんのまとめ役となっております。責任感がとても強く、職員動静の写真貼り、毎日朝夕の職員の出迎えや見送り、今年の五月からは利用者朝礼の司会もされています。初めは少し緊張した表情でぎこちない感じでしたが、最近は慣れてこられたのかとてもスムーズに進行されています。元気いっぱい生活されていますが、年齢には勝てないところも出ているのも現実で、転倒リスクも高くなって来られています。例えば他の利用者の皆さんのお世話も自ら進んでしてくださいますが、立ち上がる時や動き始めるときにふらつきが目立ってきました。本人のプライドや、やる気を無くさないように声掛けし、支援を行ってまいります。いつまでも元気で笑顔溢れる毎日をご過ごしていただけるように、私をはじめ職員皆で協力し、支援していきたく思います。

## 『初任者研修を終えて』

支援員 吉永 聖



六月のコロナ禍の中で参加させていただいた今回の研修でしたが、最初はどのような研修になるのか不安の中での参加となりました。二日間行われた研修では三十名ほどの方が参加され六グループに分かれて授業を聞き、グループ討論を行ったり、役割を自分たちで決めた簡単な寸劇などを行いました。グループ討論の時も、コロナウイルス感染症対策という事で、パーテーションとフェイスシールドを使用しながらの討論となりました。

私が今回の研修で学んだ事は、利用者の心身の状況や環境、福祉サービスの利用状況や希望する生活など、利用者の情報を総合的に判断する必要がある、利用者の身体面・心理面・生活環境等の情報をくみ取る事が重要だという事、現状に加えて生活履歴や将来像を見据え支援を考え、常により良くなるように修正をしながら支援を行っていく事が必要という事です。また、利用者との日頃の会話を通して、あるいは家族や他の関係者、関係機関と連携をとりながら利用者についての情報を集める事が必要であり、利用者さんへの理解を深めていく事が大切であるという事も学びました。チームケアの一員として動いている事の自覚を持ち、自分の言動や行動の振り返り自己チェックを行い、適切なコミュニケーションスキルを身に付け、チームの一員である事を自覚し、自分の出来る役割が何か、何を求められているのかどう動いたら良いのかを考えて自ら動いていく事がより必要になってくる事、報告・連絡・相談・確認は欠かさずに行っていくかなければいけないと感じました。自己のスキルアップがチームの向上につながり、専門性と組織性に関する基本を習得し、実践的能力を身につけていかなければならないと感じました。

今回、コロナ禍の中で行なわれた研修でしたが、今後の支援を行っていく中で大切にしていかなければならない事をたくさん学ばせていただきましたので、これからの支援の中で役立てていきたいと思えます。

## 『九州大会に参加して』

支援員 鶴田 浩隆



七月六、七日に行われた第五十二回九州地区障害者関係施設職員研修大会に参加させて頂きました。本来であれば佐賀県で開催される予定でしたが、コロナ禍のため初めてオンラインでの開催となりました。

九州大会では様々な講義を受けることが出来ました。私たちの支援の一日の報酬額など、今まで意識していなかった施設に入る給付金の事、自分自身や部下の育成で大事な事、実際にコロナウイルス感染が発生した施設における感染拡大防止の方法等、興味深い内容が多々ありました。その中で私が印象に残った講義は二件の事例発表でした。一件目は施設Wにおける虐待問題です。虐待は何故発生したのか、虐待をなくすためにどのような取り組みを行ったのか、私たちが虐待を起こさないためには何を必要があるのかを知ることが出来る事例発表でした。二件目は、施設Eにおける看取りケアについてです。第二芥山寮でも、利用者の皆さんの老化が少しずつ進行しています。今後実際に看取りケアが必要になるかは現時点では分かりませんが、いざ『やる』となった際に、どのような心構えで臨めばいいのか、また、看取りの状況になっても、利用者の方にはいつも通り安心して暮らして頂くことが一番大事であるということを知ることが出来ました。

このように、事例発表は現在の芥山寮や第二芥山寮が直面している問題についてのことでした。決して他の施設のことであると無関心にならず、今回の九州大会のことを周囲と共有しながら、今後の支援に臨みたいと思えます。

## 夕涼み会（苓山寮）

六月二二日夕涼み会が行われました。さて、今回はどんな趣向を凝らそうか・・・皆で考え利用者の皆さんが一番好きなカラオケに重点を置く事としました。出来るだけ沢山の人が唄って貰いたいという思いで、カラオケを唄いながらの手作りガラポン抽選会。カラオケを唄いながら美味しいアイスのおやつ時間。カラオケで始まりカラオケで終わる夕涼み会でした。コロナで外出が出来ない今、利用者の皆さんの笑顔が見れてとても嬉しいひとときでした。

夕涼み会の一番の目玉は**ガラポン抽選会**！何が当たるかな？



歌って食べて、みんなで仲良く楽しく過ごしました♪



## ミニ運動会（第二苓山寮）

藍愛ピックが今年も新型コロナウイルス感染症の為に中止となりました。第二苓山寮では六月二二日にミニ運動会を実施しました。利用者の皆さんはとも喜んでいらっしやいました。玉入れ・ボール運び・ピンポン球運びリレー・借り物競走と定番の競技がほとんどでしたが、利用者さん一人ひとりが参加し、最高の笑顔を見せてくださいました。ミニ運動会が終了すると沢山の利用者さんから「面白かったよ」「楽しかったよ」等の嬉しい言葉を頂き、ミニ運動会を実施して良かったと思います。

さあ、**赤チーム**と**黄チーム**どちらが勝つでしょうか！？



落とさないでね♪

私が好きな人 ♡



## えがおの会

七月九日、約一年ぶりにえがおの会を開催する事が出来ました。利用者の皆さんがとも楽しそうに唄ったり、音楽に合わせて手振りをつけて踊ったり、読み聞かせの時は体を前のめりにして聞かれたりと、とても楽しそうに過ごされたのが印象的でした。今後も、えがおの会が開催出来るよう願うばかりです。

久しぶりのえがおの会はとっても楽しかったね!!



みんなの笑顔がとってもまぶしい!これでこそえがおの会!!



## 災害対応訓練及び事業継続計画訓練

六月三日、災害対応訓練を実施しました。昨年からの施設が被災した事を想定し、その後の訓練として事業継続計画訓練を実施しています。熊本地震で被災した施設の話で、避難はスムーズであったが避難後に施設へ戻ろうとする利用者がいて、対応に困難を要したとの話しを聞き、その後の訓練の重要性を感じました。今回の訓練は、施設裏山の土砂崩れが起き、施設の南側半分が使えなくなった事を想定。利用者の皆さんにはいつも使えている場所が使えない非日常的時間を体感して頂きました。

みんなで訓練しておけば、いざという時には安心だね。

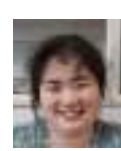


【新利用者紹介】  
魚住 誠二さん（苓山寮）



七月九日より苓山寮を利用しています。笑顔がとても素敵で、映画にとっても興味がありません。楽しい時間を過ごしましょう。

田村 のぞみさん（第二苓山寮）



七月十六日より第二苓山寮を利用していました。アンパンマンが大好きです。仲良く元気に過ごしていきます。

川島 千賀さん（苓山寮）



七月三十日より苓山寮を利用しています。アクセサリーなどおしゃれが趣味です。素敵な笑顔を見せて下さいね。

【退職職員紹介】

椎山 風花さん（第二苓山寮）

八月三十一日付けで退職されます。調理員として利用者さんや職員の美味しい食事をいつも作って下さいました。今後の椎山さんのご健勝とご活躍をお祈りしています。

大塚 啓祐さん（苓山寮）

八月三十一日付けで退職されます。支援員として利用者さんの生活を優しい笑顔で支援して下さいました。これから大塚さんのご健勝とご活躍をお祈りしています。



【グループホーム事業所紹介】第二弾  
▽グループホームかなで

五月一日より新たにグループホーム「かなで」が開所しました。「かなで」は第一弾で紹介しました「つばさ」と同じ建物の中にあり、現在は六名の利用者さんが生活されています。新しい建物での生活のため、初めはなかなか慣れることが出来ず、戸惑いを隠せない利用者さんの中にはいらつしやいましたが、徐々に「かなで」での生活にも慣れてこられ、ここから職場へ出勤される方や生活介護を利用され、第二苓山寮へいらつしやる方々様々な生活スタイルで過ごされています。「つばさ」とも日頃から交流があり、毎月一回合同で自治会を行ったり、今後はレクリエーション等の楽しい催しも計画されています。「かなで」そして「つばさ」で生活されている利用者の方々が、笑顔いっぱい安心して、そして安全に生活が出来るように職員皆で協力して支援を行っていきます。



みんなで仲良く

楽しく笑顔で

過ごしましょう！！

＜お祝い＞

第二苓山寮の糸田支援員（旧姓塩家）が入籍されました。おめでとございます。幸せな家庭を築いて下さい。

苓山寮の池田支援員に第二子の希華（ののか）ちゃんが誕生しました。おめでとございます。希華ちゃんの健やかな成長を願っております。

＜行事予定＞

（変更あり次第、ご連絡します）

九月

八日

本町消防団合同防災訓練

十二日

県親善スポーツ大会

十四日

敬老会

二二日

亀川小学校交流会

十月

六日

配置医来寮

十三日

津波対応訓練

十九日

管内買い物

二四日

啓明会秋祭り

二六日

第四回管内研修

＜編集後記＞

七月二三日、東京オリンピックピックが開催されました。直前まで色々な問題が取り上げられ、緊急事態宣言下での無観客開催となりましたが、利用者の皆さんもテレビでの観戦を楽しませておりました。選手の方々の一生懸命な姿に感動し、日本のメダルラッシュに盛り上がる一方で、コロナのデルタ株による感染拡大が止まりません。私達も二回目のワクチン接種を受けましたが、油断する事無く、感染対策を続けていこうと思います。

天候不順な夏で、体調を崩しやすい時期です。熱中症や、胃腸炎等にも十分気を付けられて、皆で元気にこの夏を乗り切りましょう。